

第1回 ライトノベル作法研究所主催 大夏祭り大会 選評評価シート

作品名：「チーム名は、『離島バスターズ！』」

テーマ：「女の子なのに、転校して来てしまった美少女」

キャラクター

60

ストーリー

50

テーマ(設定)

60

文章力

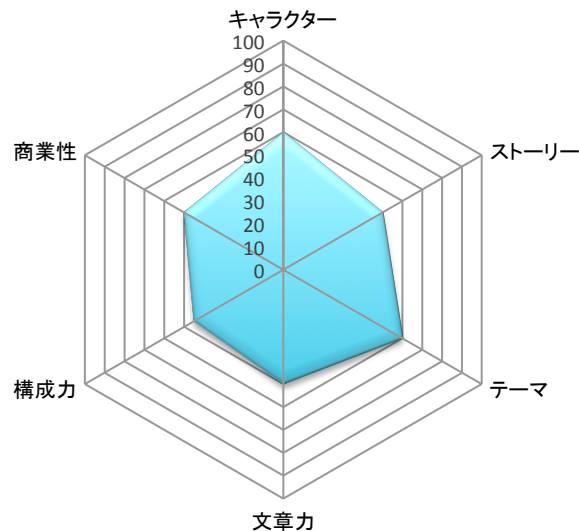
50

構成力

45

商業性

50



・見受けられる基礎的な問題点

- ・キャラクターに個性がない(もしくはその個性を生かしきれていない)
- ・キャラクターの設定にオリジナリティがなく、読んでいて新鮮さに欠ける
- ・キャラクターの行動に動機がなく、物語がご都合展開になってしまっている
- ・物語の方向性が定まっておらず、読む側にだるさを感じさせてしまっている
- ・物語に登場人物達にとっての障害が登場せず、盛り上がり欠ける
- ・テーマ(世界観)が既存の作品の焼き回しで差別化されていない
- ・物語上必要のない設定を多く登場させ過ぎている
- ・意味の無い暗いテーマ(人の死、暴力等)が扱われており、後味が悪い
- ・プロットの練り方が甘い(基本的な起承転結が意識されていない)
- ・時系列の流れが不自然、もしくは視点移動が多過ぎて構成が理解しにくい
- ・物語の情景描写が足りず、読んでいて状況を想像できない
- ・文章が難解かもしくは文法的に問題があり、よく読まないと内容が理解できない
- ・伏線的な要素がなさすぎて驚きに欠ける
- ・笑いをとれる下ネタが少なく、読んでいて冷める下ネタが多い
- ・「この作品の最大の魅力はこれ！」というものがない

・総評 (もしくは、今後これをやったら更に面白い作品を書けるようになるかもという話)

・離島甲子園という設定が面白い(もしくは本当に実在する?)。野球を軸にした友情と青春の物語として王道的な面白さがあり、非常に楽しみながら読み進めることができた。リトバスの世界観をかなりの大きい部分で拝借している点が少しだけずるいか。ただ御堂が実は女等、ライトノベルらしいオリジナリティも散りばめられているため全く問題はない。

・その御堂の女設定について、なぜ御堂が男装した状態に入って来なければならなかったのかがよく分からなかった。どうせこの設定を出すのであれば、例えば離島甲子園も女性も参加禁止で、そのことを理解した上で離島甲子園にでたいから男装してきたという場合なら理解も出来、かつこの場合青春物語という以外に「いつバレルか」という緊張感も読み手に与えるといった工夫があっても面白かったのではないかと考えられる。

・野球の練習を頑張っているだけに、村上水軍の宝探しよりは離島甲子園の実際の試合をオチとしてもってきた方がスマートで綺麗だったのではないかと印象を受けた。(もちろん短編内でできることには限りがあるが)離島の青春物語を魅力として読み進めている分突然の村上水軍の宝というワードには「え？」という違和感を覚えてしまう。

合計加点ポイント 0

総得点： 315 / 600

B方式総合得点： 16538 点